川口町公民館報
公民館報
第58号
発行人 星野輝政
編集人 金子 真
印刷所 山神堂印刷所

建築補助坪数きまる

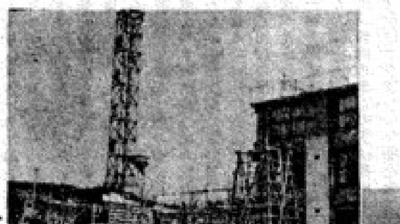
—統合校舎建築 鉄筋二一二坪 鉄骨七三坪—

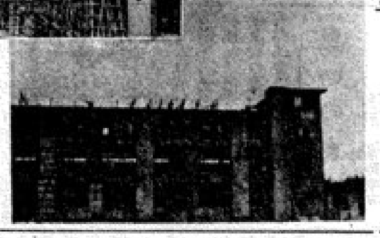
本年度建築事業認定申請にもとづき、このほど川口小学校建築事業に伴う国庫補助坪数の内示があった。資格坪数鉄筋コンクリート造二一四坪（六教室）に対し二一二坪の補助であり鉄骨一〇四坪（資格坪数）に対し七三坪の補助が認められ、鉄筋、鉄骨を合わせ七百六十五万七千八百円の補助金が内示された。昨年度は危険校舎改築事業として三一六坪普通教室九教室を完成したが、本年はそれになお六教室と管理関係三三五坪を建築することになっている新校舎に於いては屋体がなく雨上で朝令、体操を行なわねばならない現状であるが、町財政はもとより、児童数から来る資格坪数の問題、又それに伴う補助坪数の関係から止むを得ざるものといえよう。

一方東西の校舎については取り崩しを行ないつつあるが、これも昨年は危険校舎改築事業としての認承であったために国、県より強行な要請に対し実情を訴え再度申入れ統合しだが、現在の措置をとるの止むなきに至った次第である。

かえりみて統合決定まで五年もの才月を要しここに又建築完成まで三ヶ年の歳月をふむという慎重な経過を辿ろうとしているが「もっとなんとか早く出来なかったろうか」という反省が決してないではない。

二つの学校が統合したのに三つの学校を運営していかねばならないこの事実は過去の慎重さがあらわれて来ているのではなかろうか。教育は人をつくるというが、その人を作るための教育の場が完全でなく何ができよう、一昨年転入して来た先生の中には川口小学校は鉄筋コンクリートの三階建てで立派なのができているから大いに張切ってやれとはげまされ、うらやましがられて赴任したが見わたせど鉄筋コンクリートの校舎はなかったという笑えない一幕もあったが、かといって責任その任にある先生方がくじけずこれだけでもこんなに出来るという熱情をもち子供達に接することこそ父兄のもつ不安子供たちの不満が取り除かれるのでなかろうか、ともあれ来年度屋体完成迄工事現場の騒音の中に小学校課程のしめくくりをする高学年ではあるが、先生も子供も父兄も自重自覚し学校校園を寛容になって大きな希望と大きな期待をもって子供の教育進展のため特段の御配慮と御健斗を希うものである。

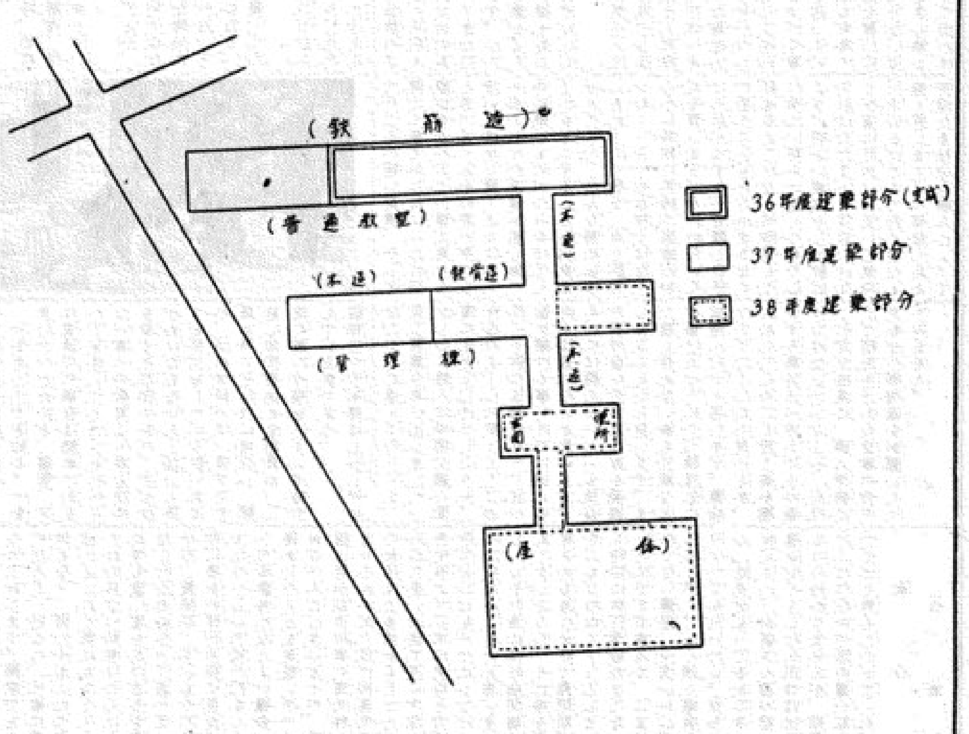




工事関係概算経費

鉄筋 (R)	214坪	17.300.000円
鉄骨 (S)	104坪	6.000.000円
木造	146坪	7.200.000円
設計下外		900.000円
土地買収費		2.900.000円
その他及事務費		1.100.000円
計		35.400.000円
補助金		7.657.800円
起債(見込)		8.000.000円
町費		19.742.200円

川口小学校建築計画配置図



丈夫なからだで楽しいくらし

すすんで健康診断を受けよう

「結核」という病気がある。そしてその結核にもいろいろの種類がある。結核について正しい知識をもち、みんなが健康でたのしい毎日を送りたいものと願いつつ、保健婦さんに結核について聞いてみた。

結核の種類について

肺結核を始めとして、セキツイ結核、関節結核、リンパ腺結核、腎臓結核等数多い種類があるが、何んといっても高率を示しているのが肺結核である。ちなみにこの町の結核患者をひろってみると、全体で七十二人いる、その内の六十九人が肺結核として診断されており、あとの三人が肺結核以外の結核で加療中である。これらの人達の全快の一日も早からんことを切望するものであるが、まだたくさんの人たちが知らぬ間に結核菌におかされているのではないか、早期発見にひとりひとりの自覚と協力が要請されるが何んとしても当局で実施する集団診断、予防接種等には積極的に参加し、わずかの疑問でも納得するまできき ただすことが大切である。

全般的に低いこの町の受診率を少しでも高めようと本年度の方針としてモデル地区を設け、他の地区への啓蒙をはかろうと計画されている。

「出るのがおっくうで」とか、「医者に何かいわれるのがこわい」とか、「オレは絶対大丈夫だ」というような自分勝手な気持ちをもたず、先になって人を誘う位の気持がほしいものだ。

結核は必ず感染するとはいわれないが同一家族の中に患者が出た場合は一応危険性はある。しかし、正しい食生活バランスのとれた労働と休養によって克服出来るものである。結核にかかりやすい時期というものはないが、自分が陽転した時をしっかりおぼえておく必要がある。特に学童の場合など家の人が記録しておくということが望ましい。

「風邪だろう、たいしたことはない」ということがあらゆる病気への突破口となる。健康こそ貴重な財産であるすすんで健康診断をうけよう

実った納税貯蓄組合の成果

納税資金の貯蓄を目的とした納税貯蓄組合法が、昭和二十六年四月に施行されてから、すでに満十年を経ました。滞納発生、差押え、引揚げ、公売と荒っぽいことの繰り返された当時を思い浮かべれば、全く隔世の感がしますが、特に営々と家業を守ってきた方々には実感の強いことと思います。

◆小千谷税務署管内納税貯蓄組合の現況

別表のとおりの状況です。なお国税納税者のうちで、納税貯蓄組合加入者の加入割合は申告所得税で五六%法人税で約五〇%です。

◆組合で融資して一括完納

（南魚沼郡のある納税貯蓄組合では組合費なしで国県町村の補助金を積立て、この資金の中から修正等で一時に納税額の増加した組合員に融資し組合員全員が期限内納税を継続しております。

（小千谷税務署）

（別表）　納税貯蓄組合現況　37.3末現在

区分	組合数	組合員数 個人	組合員数 法人	組合員数 計	内国税納税者数 個人	内国税納税者数 法人	内国税納税者数 計
小千谷市	18	650	127	777	249	107	356
川口町	1	24	3	27	3	17	20
堀之内町	1	93	30	123	32	20	52
小出町	1	421	15	436	100	15	115
湯之谷村	1	19	4	23	13	3	16
広神村	1	55	6	61	19	5	24
守門村	1	69		66	12		12
入広瀬村	1	29		29	13		13
湯沢町	3	86	36	122	51	29	80
塩沢町	3	170	20	190	50	15	65
六日町	3	177	32	209	78	28	106
大和町	4	94	26	120	29	16	45
計	33	1.887	299	2.186	649	255	904

雨中に好記録

郡中学陸上大会

例年行なわれる好記録を生んできた郡中学校陸上競技大会が去る六月二十四日雨中に開催された。この日前日からの降雨が止まずグラウンドの条件もわるく新記録への期待はもてないかにみえたが参加選手の健闘と応援団の声援により好成績を収めることができた。本町中学校関係は次の通り。

（男子）
八〇〇米　四位　山吉　和司（川口中）
一五〇〇米　二位　山吉　和司（川口中）
四〇〇米リレー　一位　川口中チーム（大会新）
八〇〇米リレー　四位　川口中チーム
走高とび　一位　小西　一郎　一米四五（川口中）
砲丸なげ　一位　大淵　信義　一一米四八（田麦山中）
八〇ハードル　一位　広井　厚（大会新）（川口中）
〃　二位　阿部和夫（川口中）
三種競技　三位　覚張　覚（川口中）
〃　五位　山田　行雄（川口中）
三段とび　二位　小宮山　晃　一〇米九〇（川口中）

（女子）
一〇〇米　二位　小林トモ子　一五秒二（木沢中）
二〇〇米　一位　関　ヨシ子　三一秒三（川口中）
二〇〇米　四位　関　カヨ（川口中）
四〇〇米リレー　二位（川口中チーム）
走巾とび　四位　小山　ミイ
走高とび　四位　鈴木智栄子　一米二〇
砲丸なげ　一位（大会新）一〇米二八　棚沢ヨシ子
〃　四位　大淵アキエ　八米七二
三種競技　五位　星野アキ子

川口山の由來

—読者文芸—

これは大昔この土地に起った実話である。川口町から一里山奥の錦鯉の産地二十村入口木沢部落、時代はいつの頃かわかっていません。円明寺の和尚さんは紅顔の美青年で三百有余の信徒を持ち独身和尚で寺男と二人の生活でした。村の裏山から峰づたいに川口迄の広大な山、妙高、焼山、苗場山、米山、黒姫の諸山を一望に納めぜんまい、山菜、山榎、山桜、藤、竹の子、うど、谷あり河あり滝あり、大蛇が屯していたり熊が雑木の芽を食べていたとか、此の豊富な山が何処迄が川口の地何処までが木沢の地とも決っていませんでした。その境界を決定すべく村人が総動した結果川口方は宝積寺の和尚木沢方は円明寺の和尚二番鳥を合図に双方から出発して出合頭を境界にしようと話は決りました。若い円明寺の和尚は言葉の数多く三十二名戦士の涙のある上様でその前夜村の娘お品を待っていました。お品はいちよう返しの黒髪にサンゴの根掛き銀かんざし縞の着物に博多帯をしめ香料を漂せてポンポンポンと三つ手を叩けばピイーッといつもの通り鳴らす和尚の室前「和尚さん芋を持って来ました」「お品ちゃん有難う」友禅の前掛けからスットンコロコロ土まみれの芋が落ちました。

二人は杉枯葉や枯枝を集めてたき火をしその灯りで本を読み矢立から筆を出しては字を書きました。「お品ちゃん今夜で九十九晩だ、そなた一晩の誓願になった、どこのお嫁になろうと恥かしくない」。「ありがとうございます。私どこえもお嫁には行きません和尚さん以外に」「お品ちゃん僧侶は妻帯出来ぬ事わかってくれましょうな」「わかります」「今夜二年間村の若い男女を集めて手習いをさせた彼此の寺に私以上の僧侶を入れ故郷信濃の田畑を売り母を呼び川口に寺小屋を建てたい考えですその時お品ちゃんそなた助手兼女房になってくれませんか」「勿体ないそれ迄私どんな辛抱もします」芋を食べながら二人が家路に着いた時、門前の女房が待っていた、熱を出した赤ん坊を抱いて「和尚さまこの子は死にます助けて下さい」「安心なさい助けてやりましょう」水行水とって本堂に行き有難い観音経をとない、一服の漢方薬をといた水を飲ませました。熱も下り眠った子を抱いて女房が帰りましたので「新や二番鳥には出発だな」「はいはい承知して居ります、多忙の御身少しお休みにならないと体に毒です」日頃の疲れから和尚はいろり端で遂うとうととうたたねをしました、そして目をさました時は三番鳥でした、「新や大変だ何故起してくれなかった」大呼して寺の坂道を気もそぞろに一目散に走った「和尚さまあ和尚さまあ」こけつころびつ後を追う老いた寺男。一方川口宝積寺の和尚、いぶかりながらも鼻息荒く寺男を従いて木沢の裏山迄やって来た。川口の和尚の顔を見るや「あ〜――」木沢の和尚は青ざめてがっくり首うなだれた。「若い御仁は眠いとみえるあっはっはっはっ」さも小気味よげに笑っている。川口からは大勢の村人がつつじ咲く峰づたいに朝露を浴びてやって来る。情勢が如何にと木沢からも大勢の村人が集った。川口の和尚は声高らかに「え—皆の衆今此処が出合頭で今日よりこの上塚が川口と木沢の境界に相成りましたぞ」川口方は一せいの拍手と同時に木沢の村人は口々に「やい糞坊主たたきのめせ」「この唐変木奴貴様のお蔭で木沢は山半分川口に取られたぞ」「学問学問って流世知らずの間抜け坊主め」首つかんで引ずり廻す者叩く者「すみません」の一言さえ許されず「おらが悪いんだ和尚さまあ許してくれ」泣き叫ぶ寺男「子供の恩人です和尚さまを許してやって」と泣く門前の女房「手前など出る幕ぢやないや」と亭主にけ倒れる始末、その夕刻和尚と寺男二人は荒地の片隅に生埋めにされた。それから一ヶ月後泣きに泣いたお品が頭を丸めて墨染の衣に珠数をつまぐり歩ける人に物言う如く霊前に立ち西国三十三番札所巡りの旅に出た。川口農業協同組合木沢支所の裏庭に今なお三十三名の供養塔が建てられている

思いのまま

木沢　星野栄子

自分の思う事をそのまま文章に表現する事が出来たらどんなにかうれしく愉快だろうと何時もながら感じさせられます。つたない文章ではありますが思う事の一端を書いてみたいと思います。

私は近頃ラジオや新聞に若い人達が農村を嫌って都会に憧れて、さては農村の嫁になる娘さんがないと言う事がどんなにか私達を淋しがらせている事でしょうか、この事は社会問題として、農村として農村に暗いかげをなげています。私はなぜ農村の娘さんが農業を嫌うのか、それにはいろいろありましょうが大抵は昔ながらの家族制度、封建制つまり嫁姑の問題が皆んなの一致した原因ではないでしょうか。例えば嫁と姑が朝夕心よく語り合うこともなく、嫁は姑の命令に従順であり、姑は嫁のそのする事が当然のように思い、意見もなく只黙々として味気ない生活を目のあたりに見せつけられてきたのではないかと思います。しかし私はそんな暗い家庭をよそに、こんな明るい家庭もあるのだという事を言わずにいられません。

私の姑さんは至って気らくな明るい感じの人で野良から疲れた足どりで家え帰ると何時もやさしくいたわってはゝえんでくれます。こんな事が山仕事の疲れも忘れさせいつしか作物への愛情となって現われ収穫もよい成績を上げる事が出来楽しい日々を送っています。そしてこの間も今年入学する長男の学用品を買いに不断あまり足の丈夫でない母が自ら雪の多い中をさも楽しい旅行のような気分で出かけて行くその麗い愛情、そして帰って来てから私に「これ羽織似合うかどうか着て見たらと思って」とその思いやり心使いには姑と言うよりはむしろ母としての愛情を感じ胸の中に熱いものがこみあげてくるのをどうすることも出来ませんでした。こんな時に私は「あれ—いい物を、申し訳ねいめ—」と、お世辞ではなく心から感謝の気持で素直にお礼を言います。それからいろいろ話がはずみ不思議と自分の思うこともわだかまりなく話せるようになり何時間となく楽しい語らいをした事でしょう。明るい家庭そして嫁姑それはただうその体裁ではなく正直に話合いお互いに気持の中にとけこんで行く事だと強く感じます。「摩擦のある荒涼たる社会も婦人によってなごやかに進んで行く」と、言う言葉を思い出しました。たしかに婦人は幸福を願い愛情に生きるだけでしょうか。今迄のように只黙々として一所、子供の世話やらで一日中働き続ける事だけでは婦人の向上は望めないと思います。それには婦人といえども集会や研究会に於て思う事を発表し合うことだと思います。また話し合えない事も文章などに書けるようにして積極的に発現したいと思います。集会などでこうしたら良いとか、ああしたら良いと言う事を発表する事自体が婦人向上の条件ではないでしょうか。私はこの文を職員に、婦人学級に於て諸先生方から文章の作り方をぜひ御指導をお願いしてやみません。

特殊教育雑感

山下克利

成長盛りの子供の身体に故障がおきた場合、直ちに入院させて治療するか、野放しにして自然に治るのを期待するかそれは本人又は親の考え一つでめでたく全快するか、一生苦しみ通すかが決まる。

知恵の遅れがひどくて、どうしても個別指導が必要な生徒は、大体その学校の先生の数程居るというのが常識である

原因は前にも書いたように決して遺伝ばかりではなく、知恵の遅れる原因は約二百種あるが、後天的な場合が圧倒的に多いのである。

母体に居る時、出生時、幼時の時の外傷、病気、環境、性格等が混然と作用し合っているのである。

それを唯「家がら」だとか、「俺ら家はそんな血統ではない」と、言って大切な時期に治療を怠たったとしたら、その子の一生は台無しになり、苦しむのは学校を卒業してからの本人である。

たしざんがわからないでどうして九九が使われよう。九九が理解出来ないで、かけざんわりざんをやれる訳はない。

「きくは一時の恥、きかぬは一生の恥」と、いう諺がある外見だけは中学生を終ったけれど、内容的に見ると勉強何年間かの時間の浪費であり、皆にも諦にも……では将来はどうなるのだろう。

外見のみにとらわれ、面子だけにこだわり、劣等感のかたまりみたいになり、ふみつけられたピンポンのようにゆがんだ心になる事がその生徒の幸福であり、そうさせる事が本当の親の愛情と言えるだろうか。

学習面の欠陥が発見された場合、直ちに治療にかかり、一時でも早く全快を願うのが父母の、教師のとる道ではないだろうか。

その治療とは個別指導より他には道はない。

そのためにあるのが特殊学級である。

普通故障のある者を三段階に分けるが、重症で向上の見込みのない者は就学免除を考え或は保護収容施設に入れる事になっている。

しかし収容施設が少ない為に現在我々の級にいる重症者は施設があき次第転校する為の手続きをとっている。

従って特殊学級には、努力次第では大きく伸びる可能性のある者が入る学級である。

一をきいて十を知る、一をきいて一がわかる、優秀、又は普通児の場合は簡単であるが十をきいても一つもわからない者への教育こそ最も研究を要する部面であり、力を注がねばならないと、誰でも県でも努力をしている訳であるが、当中学校では、県下でも最も早くその点に着眼し、開級し学校長始め全職員が、生徒の真の幸福をめざして努力している訳である。

昭和三十六年度はしかし発会であったとは言えない。予算施設その他大きな、多くの問題が残っている。

しかしそれらが全てうまく行っても、社会の偏見があったり又、父兄の意識が高まらねば決してうまく行かない。

昭和三十七年度の最大の仕事である。

移行学級を受講して

東川口　一主婦

春の息吹きと共に農家は春木切りに山へ、散土に、さては雪間をぬっての山菜とりに一年の仕事の前奏曲がかなでられております。商家でも人の出入り、社交に、仕事は活発となり、家の中もごたつ布団のよごれと共にあちこちよごれの目立つ初春はのんびり女房も重い腰をあげざるを得ない此の頃になって参りましたが、農閑期、冬ごもりの時期に長女の移行学級に長女共々なつかしい母校の門をくぐり大変参考になりよい機会を得ましたことを有難く思っておる一人でございますが、聴講内容が幼児教育の重大性をもりこんであり殊に校長先生のお話は土地柄をもりこんだわかり易いお話で遠い大学の先生等より非常に実際その近所周辺が心を一つにしなければならないことだと思いますしかしその為には社会問題もありましょうが、それ等を自覚させる為にせめて農閑期、冬ごもりのぬく〳〵としている時期に移行学級のようなよい方法でまず集めて、こま切れでない講習、一回から二回三回と続く、広く聴く機会をつくってもらいたい。赤ちゃん、幼児をもってるお母さんお父さん、お婆さん達が聴く機会をどうしたら川口は出来るのかわかりませんが、初春のこたつの中で腰の重い私のつくづく考えたことでした。

農薬事故を一掃しよう

まくときまいたあとの注意

いよいよ農作物の消毒の時期になりました。

水田では、二化メイ虫、カラバエ、ヘモグリバエ、ウンカ、葉、頸いもち病、紋枯病畑では、アブラムシ、ヨトウムシ、ウリバエ、キスジノミムシ、シンクイムシ、べと病はくはん病、軟腐病、青枯病疫病、黒斑病、タンソ病など作物の全生育期間を通して消毒されます。

それらに使用される農薬のほとんどのものが、毒物、劇物であり、比較的少量で普通の健康状態の身体の働きに障害を与える性質、即ち毒性、劇性のあるもので医薬品（くすり）以外のものです。その毒物の中でも特に危険なためその使用者、用途及び使用方法などに特別に定められたものを特定毒物といっています

一般に使用されるものを市販名で分けてみると次のようなものがあります。

◉毒物
EPN　モンゼット　アッジン　セレサン石灰　ウスプルン　フイロン　メル　ルベロン　ネコイラズ　硫酸ニコチン　昇汞水　シンラビ　馬鈴薯粉剤　水銀ボルドー　水銀粉剤

◉劇物
ホルマリン　デイプテレックス　ヘプタ　デリス　パイジット　PCP　ダイアジノン　デナポン　クロルピクリン　セビン

◉特定毒物
パラチオン（ホリドール）　フラトール　テップ　ニカリン　PR粉剤　ブッソール

「なりません」13ケ条 守らなければ損をする

1. 毒物や劇物を買い求める時には、印を押した譲受書を持っていかなくてはなりません。
2. 毒物や劇物に該当する農薬は、かぎのかかる設備のところに保管しておかなければなりません。
3. 毒物や劇物を保管しておく箱には、医薬用外毒、劇物と表示しておかなければなりません。
4. かぎは、その農家の農作業の中心となるべき人が厳重に管理しなければなりません。
5. 作業に出かけるとき、その日の作業の種類や量に応じて必要だけの農薬を持っていくよう習慣づけなければなりません。
6. 散布する時は、身体の調子、服装、風向きなどを確かめてから完全な状態のもとで作業しなければなりません。
7. 散布器具は使用前に十分点検し、散布後は空びん、空袋を完全に処理しなければなりません。
8. 作業終了後は、身体や手足をよく石けんで洗ったり作業服、器具もよく洗わなければなりません。
9. 散布する辺りの野菜や草は、散布する前にとるか、散布した後は三週間はとってはなりません。
10 人畜の寄生虫や、家屋の害虫駆除には絶対に使用してはなりません。
11 特定毒物は、個人で買うことも使用することも所持することも固く禁じられていますから、共同防除でなければなりません。
12 特定毒物の使用した水田には、七日間「立入禁止」、または「(毒)」の赤旗を立てて、はっきり表示しなければなりません。
13 万一中毒したと思ったら安静にして、のどにきれいな指を突込むか、濃厚食塩水、からし水を多量に与え胃の中の毒物を吐き出させなければなりません。その間にいそいで医者を招き農薬中毒であることをはっきり申し出て、手当てをしなければなりません。